F5 BIG-IP フェイルオーバ手順書

１．目次

１．目次 1
２．シリアルケーブルにおける冗長化構成 2
　２．１．前提条件 2
　２．２．Device Group の作成 3
２．Config-Sync の設定 7

２．シリアルケーブルにおける冗長化構成

２．１．前提条件

プライマリ機及びセカンダリ機において、下記の条件を満たしていることを確認する。

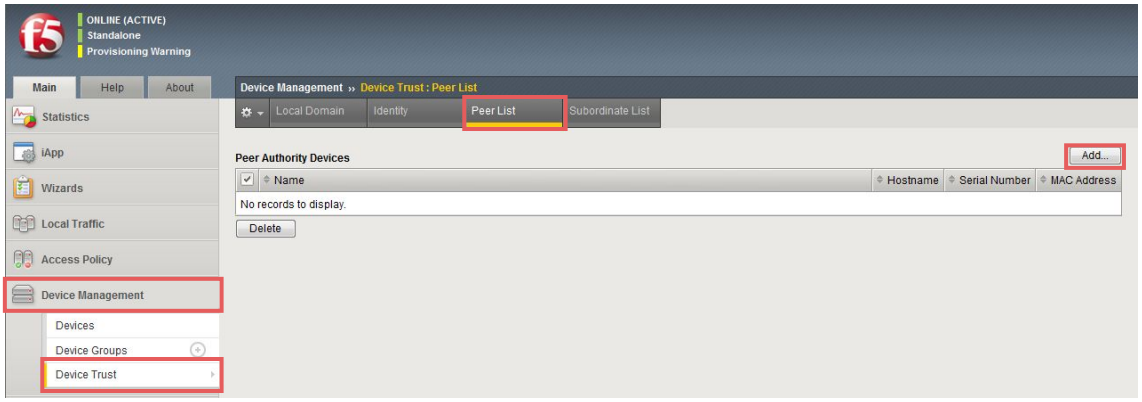
- 各マシンの Hostname が FQDN であること
- 各マシンのユーザーネーム及びパスワードが設定されていること
- 各マシンの時刻が合っていること
- BIG-IP のソフトウェアのバージョンが合っていること
- Management IP が定義され、ネットワークに接続されていること

２．２．Device Group の作成

※本作業は、プライマリ機において操作する。

※各マシンがシリアルケーブルで接続されていないことを確認する

1. Device Management＞Device Trust＞Peer List の順に選択し、「Add」をクリックする。

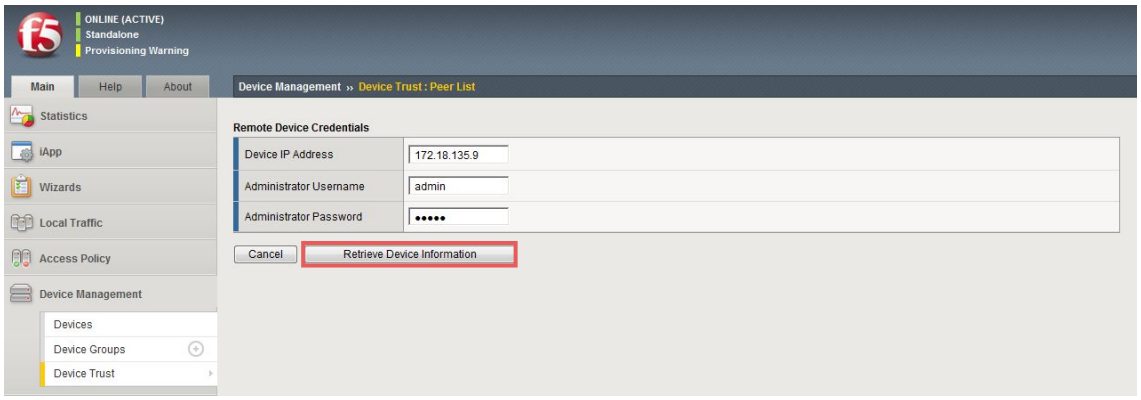


2. セカンダリ機の情報を入力し、「Retrieve Device Information」を選択する。

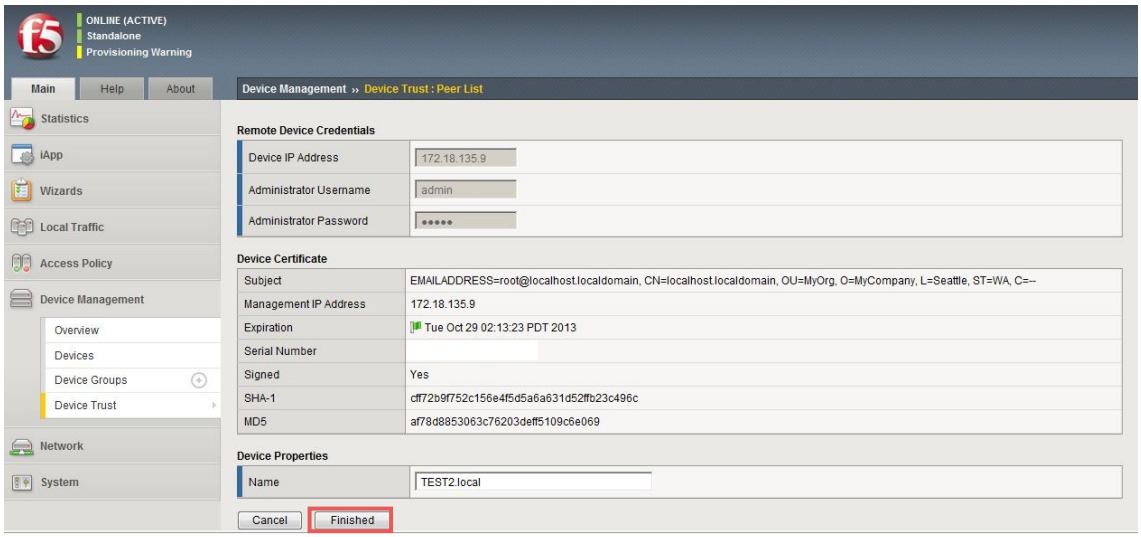
   Device IP Adress ： 172.18.135.9(セカンダリ機)

   Administrator Username ： admin(デフォルト)

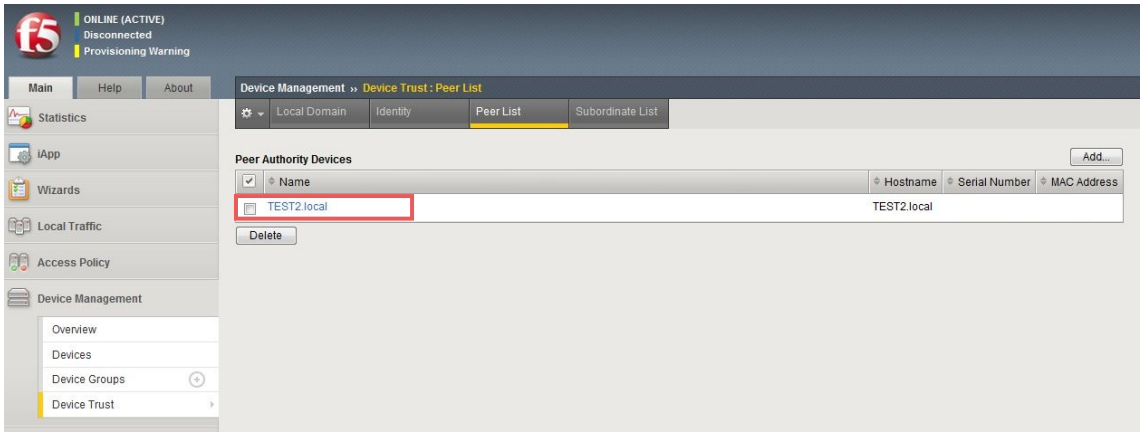
   Administrator Password ： admin(デフォルト)



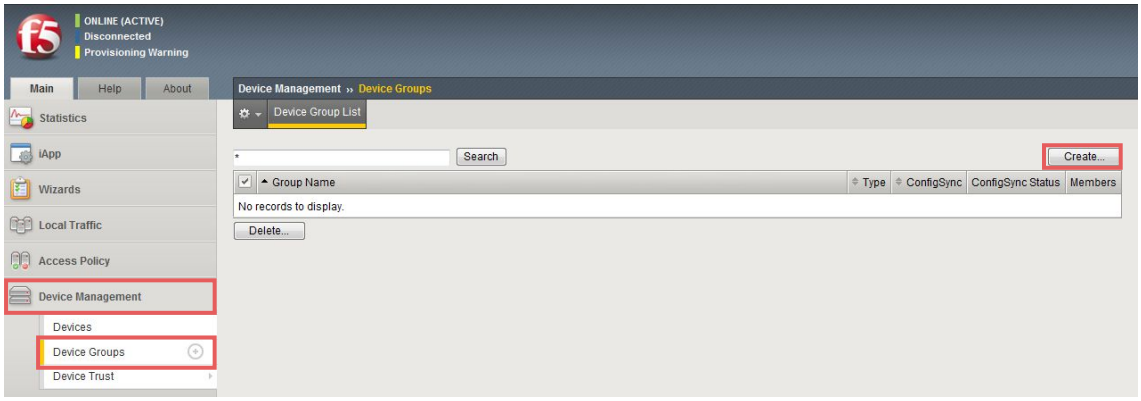
3. 内容が合っていることを確認し、「Finished」を選択する。



※セカンダリ機が追加されたことを確認。



4. Device Management＞Device Groups の順に選択し、「Create」をクリックする。



5. 下記のように設定をし、「Finished」をクリックする。

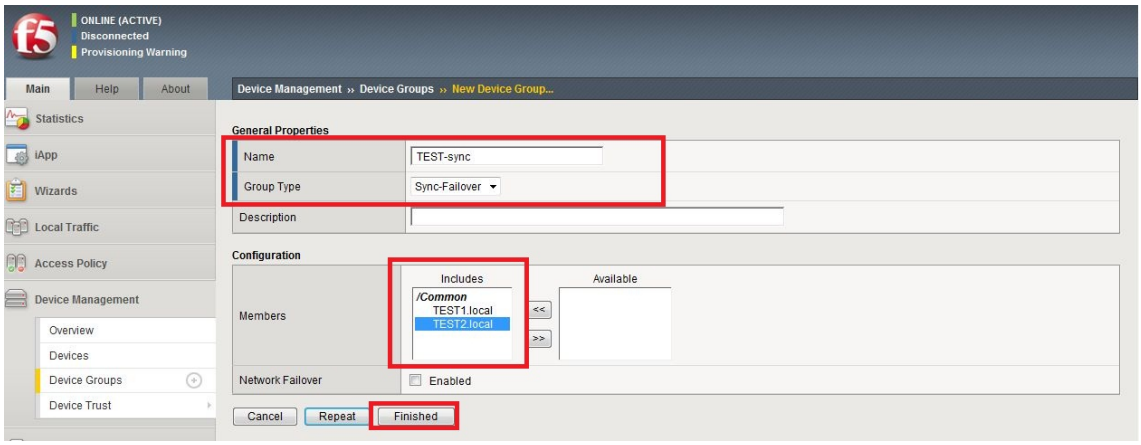
■General Properties

Name …「設定したいグループ名」

Group Type …「Sync-Failover」

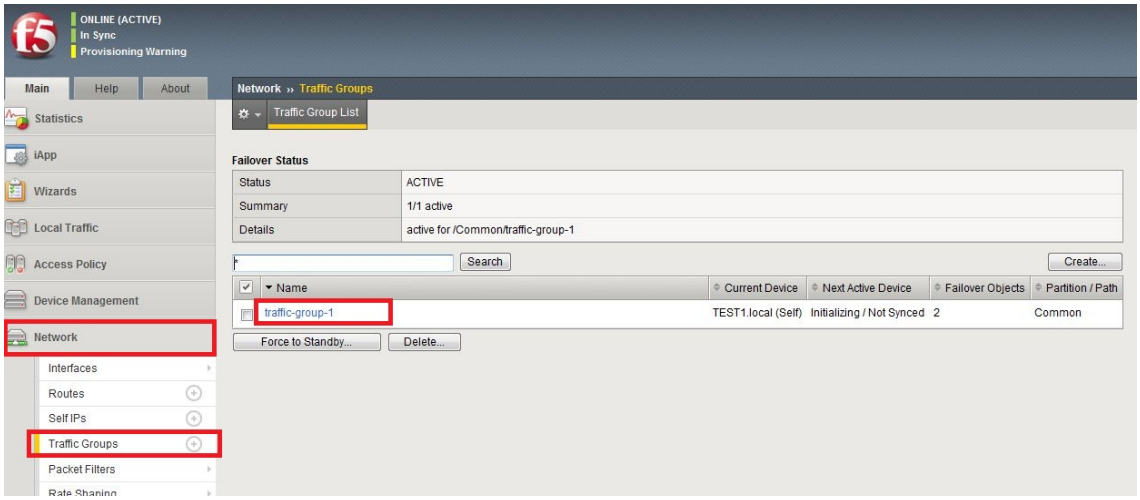
■Configuration

Members …グループに含めたいメンバーを「Includes」に追加

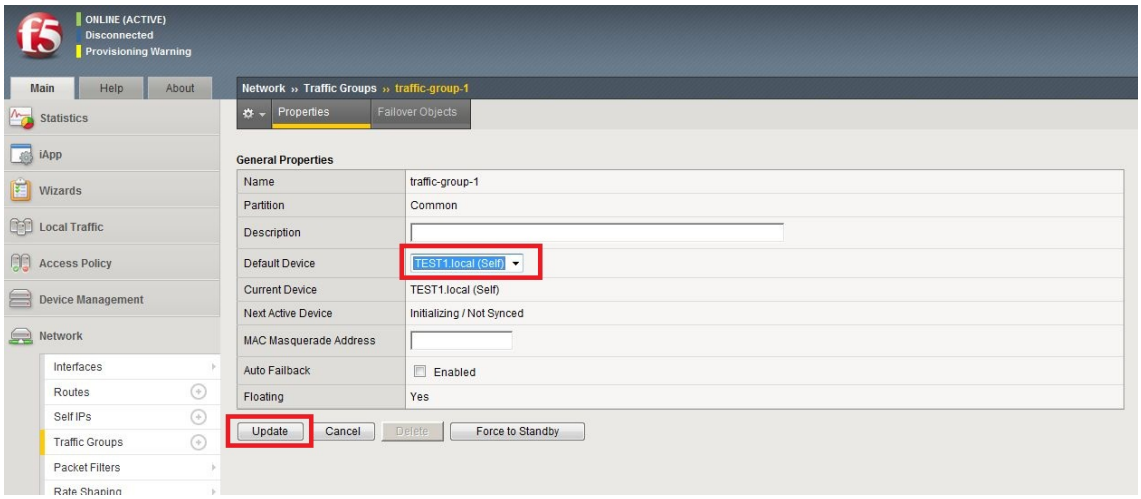


※機器前面モニタにおいて、状態が「Active」になったことを確認。

6. Network＞Traffic Groups の順に選択し、「traffic-group-1」を選択する。



7. Default Device にプライマリ機を選択し、「Update」をクリックする。

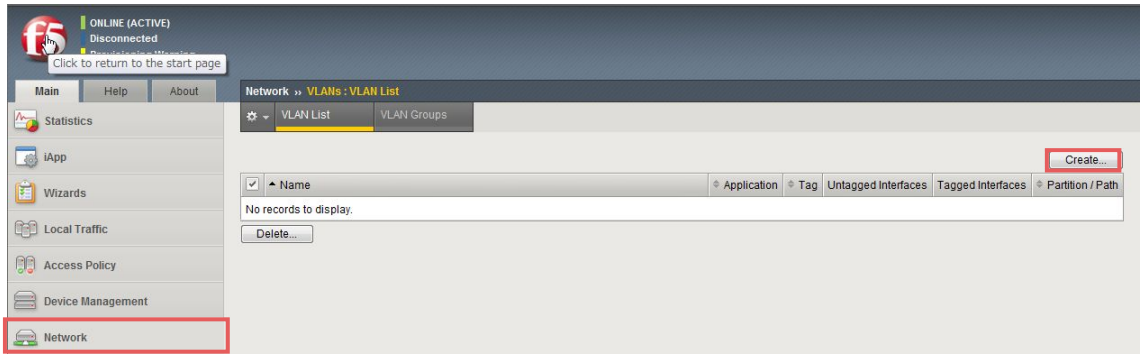


8. セカンダリ機においても、5.～7.の作業を行う。

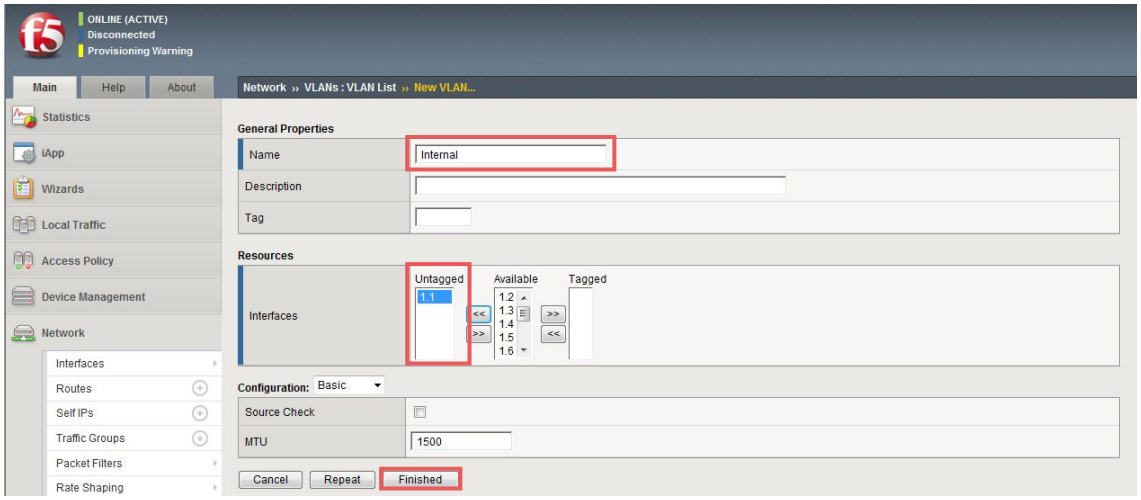
9. 両機器の状態が「active」になっていることを確認し、シリアルケーブルで接続する。機器前面モニタにおいて、プライマリ機が「active」に、セカンダリ機が「standby」になっていることを確認する。

2．Config-Sync の設定

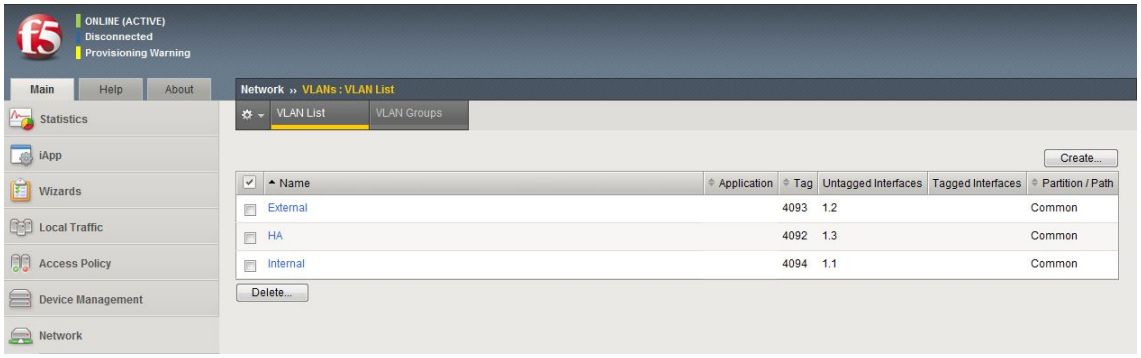
1. プライマリ機において、Network＞VLANs の順に選択し、「Create」をクリックする。



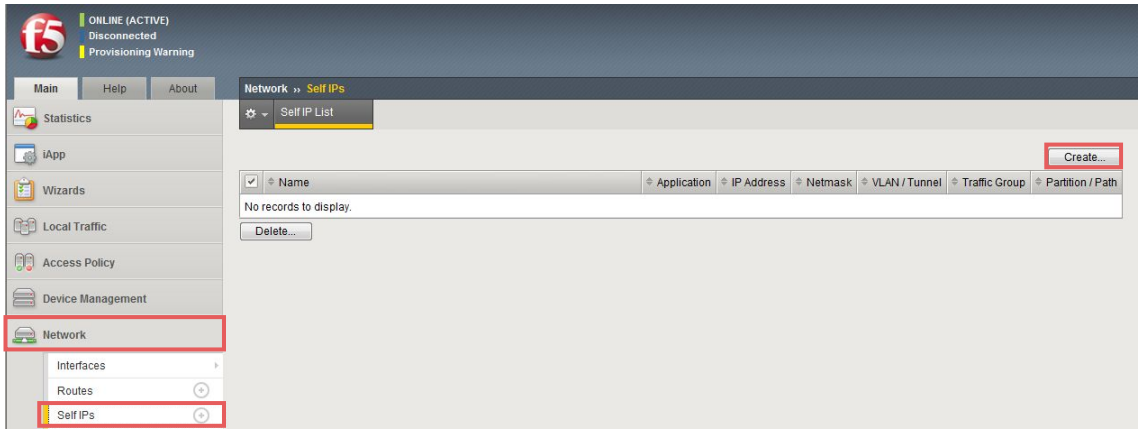
2. VLAN 名に「Internal」、Untagged に Interface「1.1」を選択し、
「Finished」をクリックする。



3. 同様にして、下図のように VLAN「External」、「HA」を作成する。



4. Network＞Self IPs の順に選択し、「Create」をクリックする。



5. 下記の例にならって、IP を 5 つ作成する。

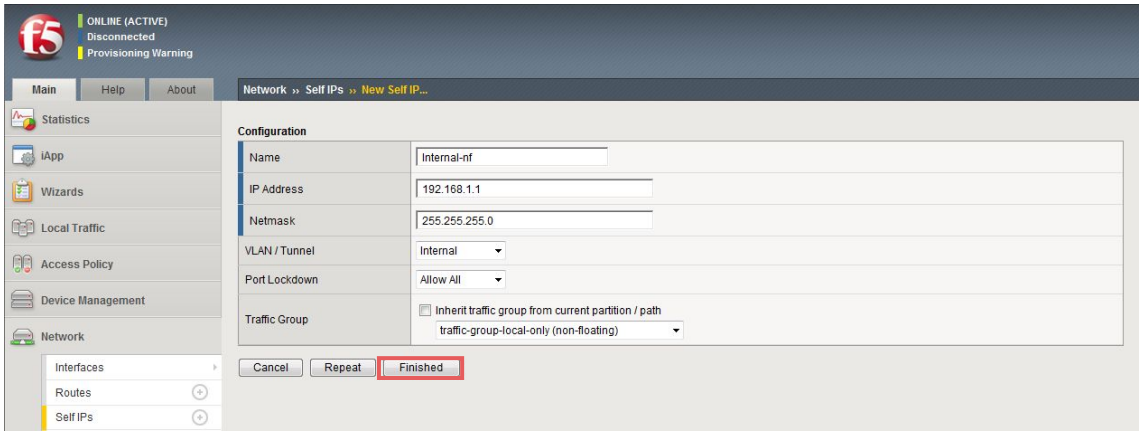
参考例）プライマリ機

	IP Address	Name	Netmask	VLAN	Port Lockdown	Traffic Group
1	192.168.1.1	Internal-nf	255.255.255.0	Internal	Allow All	non-floating
2	192.168.1.11	Internal-f	255.255.255.0	Internal	Allow All	floating
3	172.16.1.1	External-nf	255.255.255.0	External	Allow All	non-floating
4	172.16.1.11	External-f	255.255.255.0	External	Allow All	floating
5	192.168.10.1	HA	255.255.255.0	HA	Allow All	non-floating

参考例）セカンダリ機

	IP Address	Name	Netmask	VLAN	Port Lockdown	Traffic Group
1	192.168.1.2	Internal-nf	255.255.255.0	Internal	Allow All	non-floating
2	192.168.1.12	Internal-f	255.255.255.0	Internal	Allow All	floating
3	172.16.1.2	External-nf	255.255.255.0	External	Allow All	non-floating
4	172.16.1.12	External-f	255.255.255.0	External	Allow All	floating
5	192.168.10.2	HA	255.255.255.0	HA	Allow All	non-floating

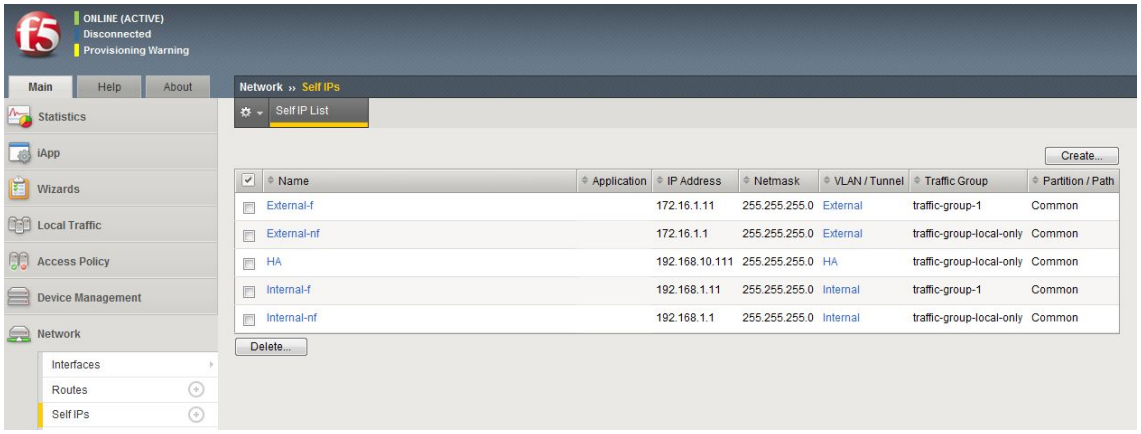
入力が完了したら、「Finished」を選択する。



※non-floating を作成してから floating を作成する。

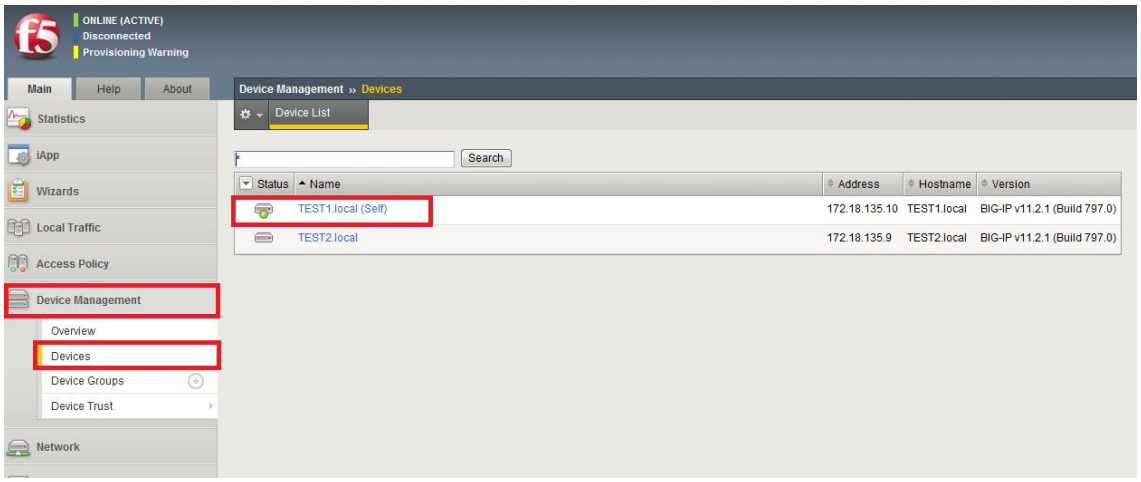
※HA は non-floating のみ作成する。

5 つの Self IP を作成する。

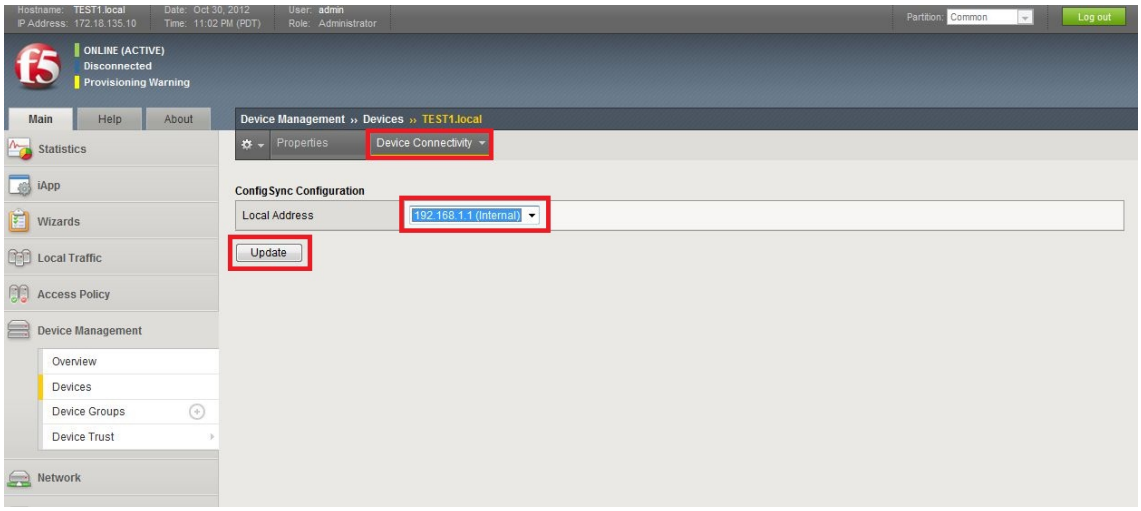


6. セカンダリ機においても、1.～5.の手順を行う。
   設定する Self IP はそれぞれ同じセグメントで作成する。

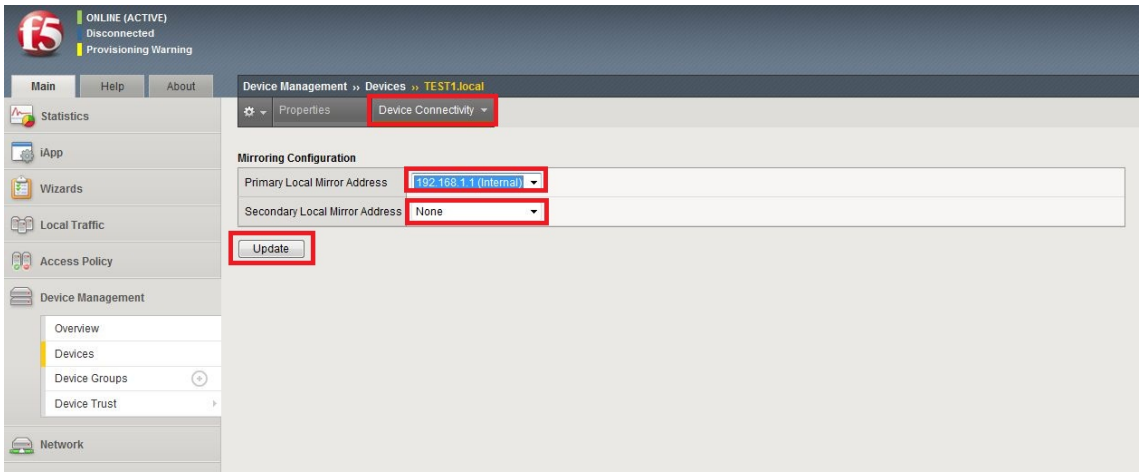
7. プライマリ機において、Device Management＞Devices の順に選択し、
   プライマリ機(self)をクリックする。



8. Device Connectivity＞ConfigSync の順に選択し、
Local Address に「(Internal)」を選択して「Update」する。

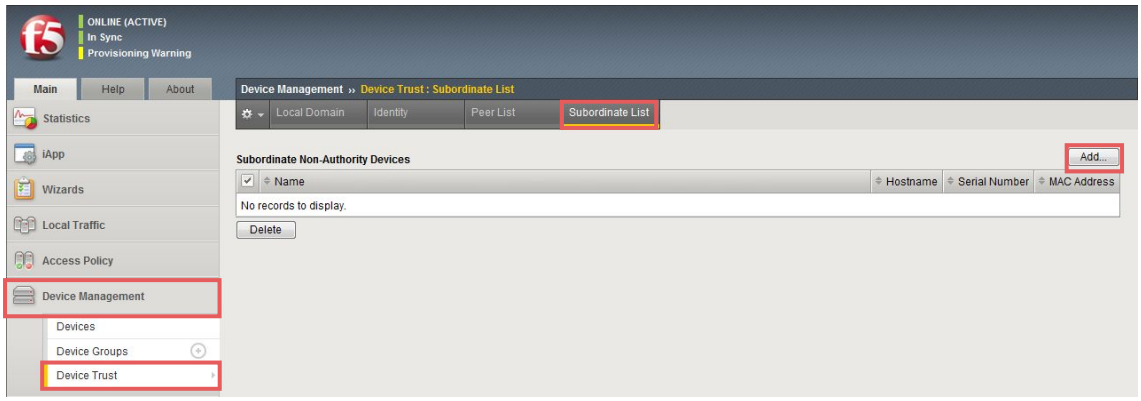


9. Device Connectivity＞Mirroring の順に選択し、
Primary Local Mirror Address を「(Internal)」、
Secondary Local Mirror Address を「None」と選択して「Update」する。

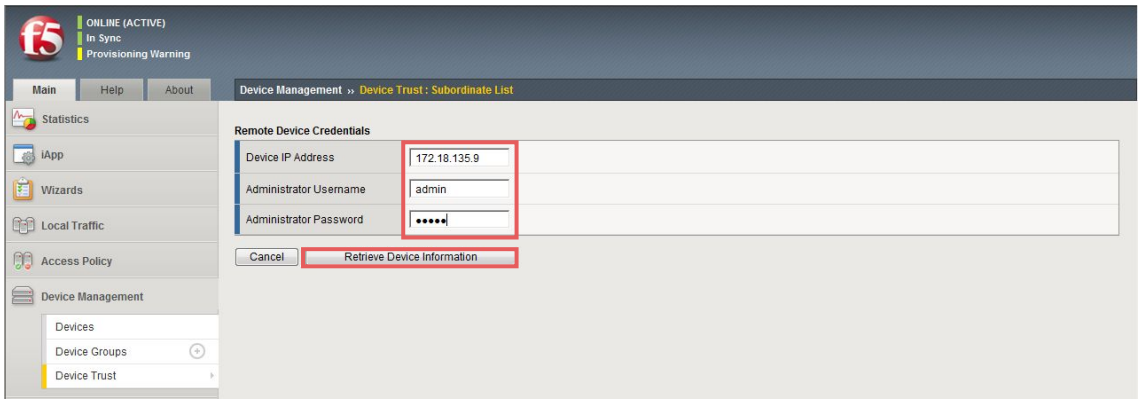


10. セカンダリ機においても、6.～8.を行う。

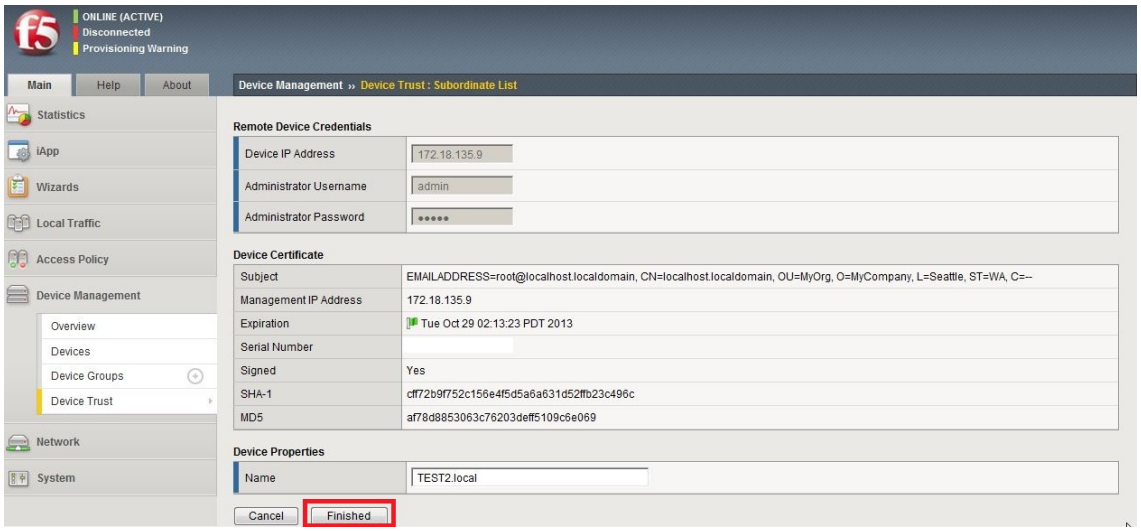
11. プライマリ機において、Device Management＞Device Trust＞Subordinate List
の順に選択し、「add」をクリックする。



12. セカンダリ機の情報を入力し、「Retrieve Device Information」を選択する。

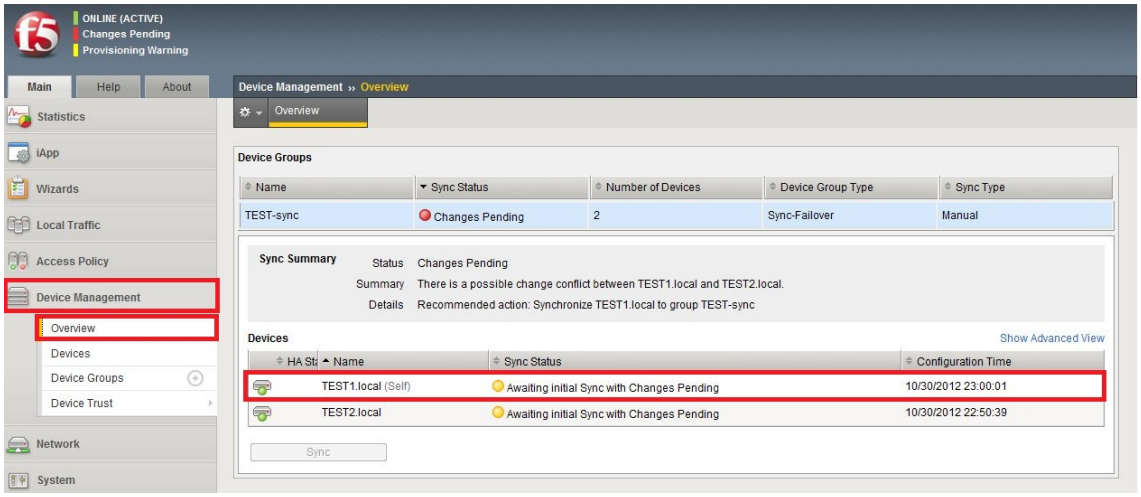


13. 内容が合っていることを確認し、「Finished」をクリックする。

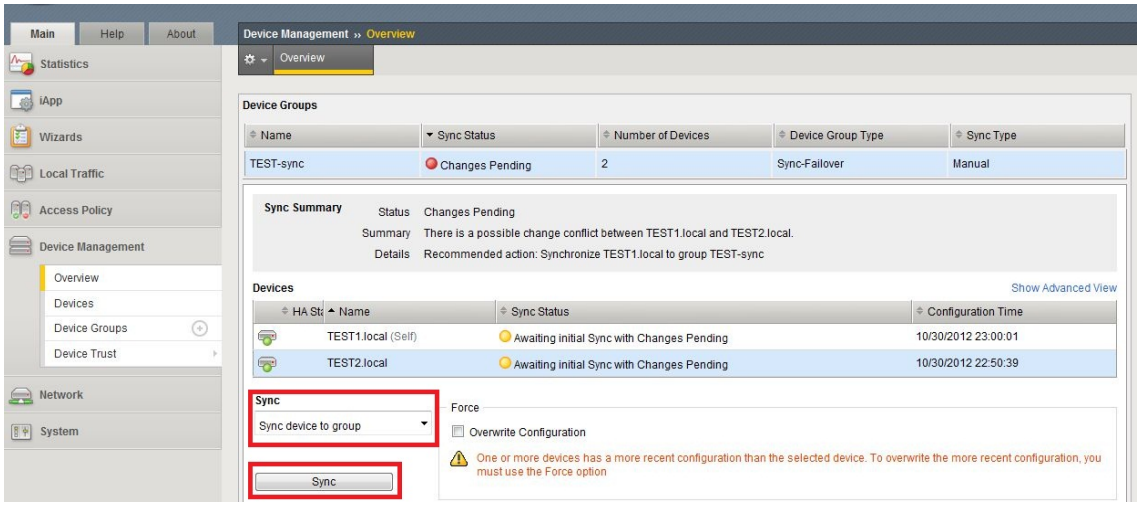


※両機器の状態が「active-active」になっていることを確認する。

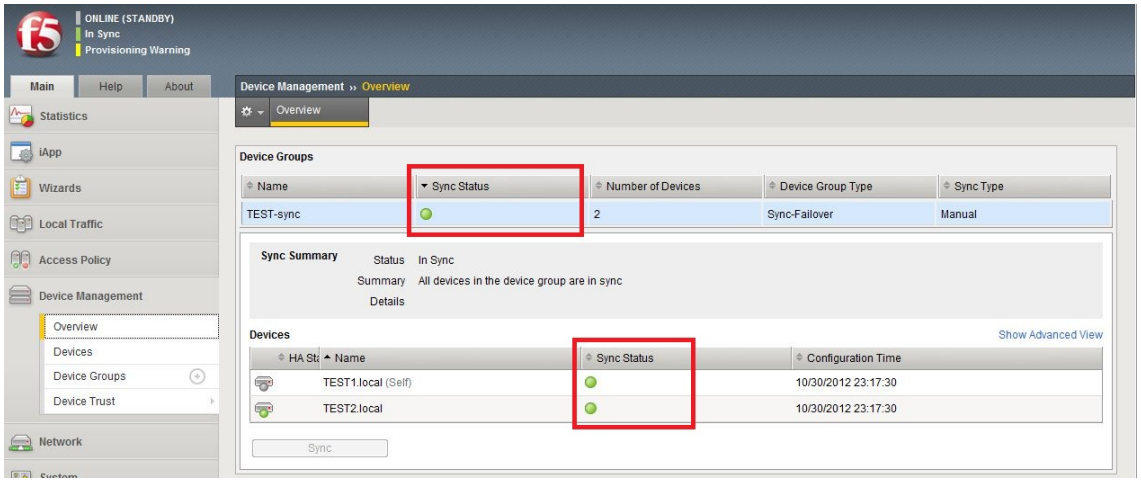
14. Device Management＞Overview の順に選択。
プライマリ機を選択。



15. Sync＞Sync device to group を選択し「Sync」をクリックする。
※強制的に USC ファイルを上書きする場合は Force＞Overwrite Configuration に☑を入れる。



16. 下図の画面が表示され、Sync Status が緑色になったことと、
機器前面モニタが「active-standby」になっていることを確認する。



以上。